

この電化により、郡山まで2時間いじょうかかっていたが、^{いま}今では1時間ほどで行けるようになり、ほんとうに^{べんり}便利になってきました。

(2) 自動車と道路

〈国道49号 滝沢バイパス開通〉

国道49号はいわき市の平から郡山、会津若松をとおって新潟をむすぶたいせつな道路です。しかし、^{こわしみず}強清水から滝沢とうげをこえて会津若松にいたる道はきゅうな坂道で、カーブが多くたいへん^{きけん}危険でした。



▲ 国道49号

そのため、とうげを通らないで^{はっ}田野・漆沢・駒板を通るバイパスを作ることになりました。1963年(^{しょうわ}昭和38年)からじゅんぴがはじまり、1967年(昭和42年)今のような道路が^{かんせい}完成しました。開通式ではおおぜいの人^{しゅ}がはく手^{おく}を送ってよろこびあいました。

このバイパスの開通で強清水から若松まで2 kmもみじかくなり、15分ほどで行けるようになったの

です。

定期路線バスも、原・福良行き、猪苗代行きもこのバイパスを通るようになり、河東町にすむ人にはたいへん便利になりました。

〈国道121号〉

喜多方へ行く国道121号の、^{よだちく}代田地区のバイパス道路ができ、ほほ^{いっしょくせん}一直線のほそう道路になり、^{じどうしゃ}自動車もどんどん通るようになりました。